

# 「課題名 大量メトトレキセート療法における排泄遅延を及ぼすリスク及びそれによる副作用の検討について

## ○研究の目的

メトトレキセート(MTX)を大量に使用した場合は血中濃度を測定することで、副作用を軽減するための対策を続けていきます。MTX が体に残りやすい人もいますので、そのような方の原因を特定することで、対策などを行う事が期待できます。

## ○研究の方法

2009年4月以降から2020年3月までに、広島大学病院に入院された患者のうちMTXを投与された方を対象とします。

本研究は全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。

カルテから使用する内容は年齢、体重、性別、投薬歴、検査所見、血液検査(血清クレアチニン、eGFR、ALB等)、MTX濃度等です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)(研究期間承認後～2022年3月31日)

## ○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

## 不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

\* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....  
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5579

広島大学 薬剤部 教授 松尾 裕彰(研究責任者)

薬剤師 片岡 達夫(研究担当者)